

柯雨田诗选

柯雨田 著



武汉出版社

第80号 登 录 证

柯 雨 田 诗 选

武汉出版社出版

鄂新登字08号

柯雨田诗选

柯雨田诗选

柯雨田 著

武汉出版社出版发行

(武汉市江岸区北京路20号 邮政编码430014)

咸宁师专印刷厂印刷

787×960毫米 36开本 3.25印张 行数 2450行

1993年8月第1版 1993年8月第1次印刷

印数：1—1000册 定价：3.50元

ISBN 7-5430-0880-2/I·109

自序

我从1987年开始学习写诗，一共写了四百多首，国内外各种报刊杂志发表了二百多篇，部分诗作收入《诗坛千人选拔赛获奖作品集》（南洋出版社）、《当代青年抒短诗集萃》（中国地质大学出版社）、《青春的脸》（南粤新闻文化艺术出版社）等十多部，不少诗作获省级以上大奖。

我是山的儿子，我的前半生是泥土中长大的，因此，我爱我的家乡，我爱我的大山。我的诗也就缺乏隆隆的机器声，充满的是叮咚的泉水声和悠悠的牧歌声。乡村那宁静恬美的大自然风光，是我放声歌唱的对象。

我于1962年11月的一天，来到父母亲的身边，到我是第九个了，人们都叫我“老九”，后来也成了“老九”（知识分子）。如果我们家的几姊妹按文化程度一比，我是老大，然而，哥哥姐姐们都受了时代的影响，不得不放弃读书，回家种田。不过，都挺棒。

我家住在离巍山县城西去六十多里的龙街乡落龙村，连绵的群山，浩荡的漾江水，紧紧地包村包围住，她简直是沃土中的一块园地，富丽多彩。村

里有一口水塘，象一面平面的镜子阳光下发出闪闪的光芒，周围簇拥着层层梯田，半坡上的人家户炊烟袅袅，半坡上的下来人往尽收在水中，呵，故乡有那么美的风景，我怎能不去歌唱，我怎能忍心把她忘掉。

从1983年师范毕业参加工作后，我很少回家，但每当夜晚月明星稀时候，我常常想起故乡那灿如星光的红土地上的明珠，汪汪看家的狗，绿水幽幽的村庄，人来匆匆的故乡。

故乡是我创作的喷泉，故乡是我诗的主题。

本书收有九十多首诗，这是我近年来在国内报刊杂志上发表过的作品中整理起来的还有少部分是近作，愿这朵小小的浪花献给那些热爱家乡热爱泥土的人们，请接受我的一份爱心。

1993.8.2

目 录

只要.....	(5)
十二岁的甜蜜.....	(6)
乡村小学.....	(7)
流云.....	(8)
主人.....	(9)
凉风.....	(10)
朝露.....	(11)
路.....	(12)
火把节.....	(13)
请你别走.....	(14)
上学.....	(15)
月亮.....	(16)
莫名的等待.....	(17)
如果.....	(18)
少女的心.....	(19)
水道.....	(20)
秋风.....	(21)
山村交响曲.....	(22)
那山, 那水和那狗.....	(23)
松鼠.....	(24)

人.....	(25)
如果.....	(26)
寻找新的世界.....	(27)
对面那座山.....	(28)
不管.....	(29)
一次爱.....	(30)
掌声中.....	(31)
走江湖.....	(32)
末班车.....	(33)
渡江.....	(34)
玫瑰.....	(35)
出行.....	(36)
想起了她们.....	(37)
给友人.....	(38)
桑树下.....	(39)
夜幕下的情思.....	(40)
离别寄语.....	(41)
静静的夜.....	(42)
流水.....	(43)
云雾山庄.....	(44)
山门.....	(45)
杂草.....	(46)
树叶沙沙.....	(47)
无影的相思.....	(48)

连绵的群山.....	(49)
挥手.....	(50)
院中那株小树.....	(51)
门前的山路.....	(52)
水泥楼房.....	(53)
世界不会有悲伤.....	(54)
老鹰.....	(55)
说那时，提那时.....	(56)
独行.....	(57)
童年生活.....	(58)
春雷.....	(59)
疾风过后.....	(60)
如果.....	(61)
小时候.....	(62)
春节早晨.....	(63)
荞麦花开的季节.....	(64)
机遇.....	(65)
归来.....	(66)
脚印.....	(67)
一片孤云.....	(68)
张嘴的乌鸦.....	(69)
学校里的常客.....	(70)
巍宝山抒怀.....	(71)
故乡的山路.....	(72)

他有一颗明亮的心.....	(73)
烟雨濛濛.....	(74)
心上人.....	(75)
不要.....	(76)
受伤的翠鸟.....	(77)
也许.....	(78)
往事悠悠.....	(79)
睡醒之后.....	(80)
江水东流.....	(81)
不再理我.....	(82)
困惑.....	(84)
阳光下的微笑.....	(85)
说不出口.....	(86)
芭蕉树.....	(87)
热爱生活.....	(88)
有些事只能自知.....	(89)
每人都有一方土.....	(90)
一条藤上的苦瓜.....	(91)
送上一缕春光.....	(92)
我的誓言.....	(93)
种子的期望.....	(94)

目 录

只要.....	(5)
十二岁的甜蜜.....	(6)
乡村小学.....	(7)
流云.....	(8)
主人.....	(9)
凉风.....	(10)
朝露.....	(11)
路.....	(12)
火把节.....	(13)
请你别走.....	(14)
上学.....	(15)
月亮.....	(16)
莫名的等待.....	(17)
如果.....	(18)
少女的心.....	(19)
水道.....	(20)
秋风.....	(21)
山村交响曲.....	(22)
那山, 那水和那狗.....	(23)
松鼠.....	(24)

人.....	(25)
如果.....	(26)
寻找新的世界.....	(27)
对面那座山.....	(28)
不羁.....	(29)
一次爱.....	(30)
掌声中.....	(31)
走江湖.....	(32)
末班车.....	(33)
渡江.....	(34)
玫瑰.....	(35)
出行.....	(36)
想起了她们.....	(37)
给友人.....	(38)
桑树下.....	(39)
夜幕下的情思.....	(40)
离别寄语.....	(41)
静静的夜.....	(42)
流水.....	(43)
云雾山庄.....	(44)
山门.....	(45)
杂草.....	(46)
树叶沙沙.....	(47)
无影的相思.....	(48)

连绵的群山.....	(49)
挥手.....	(50)
院中那株小树.....	(51)
门前的山路.....	(52)
水泥楼房.....	(53)
世界不会有悲伤.....	(54)
老鹰.....	(55)
说那时，提那时.....	(56)
独行.....	(57)
童年生活.....	(58)
春雷.....	(59)
疾风过后.....	(60)
如果.....	(61)
小时候.....	(62)
春节早晨.....	(63)
荞麦花开的季节.....	(64)
机遇.....	(65)
归来.....	(66)
脚印.....	(67)
一片孤云.....	(68)
张嘴的乌鸦.....	(69)
学校里的常客.....	(70)
巍宝山抒怀.....	(71)
故乡的山路.....	(72)

他有一颗明亮的心.....	(73)
烟雨濛濛.....	(74)
心上人.....	(75)
不要.....	(76)
受伤的翠鸟.....	(77)
也许.....	(78)
往事悠悠.....	(79)
睡醒之后.....	(80)
江水东流.....	(81)
不再理我.....	(82)
困惑.....	(84)
阳光下的微笑.....	(85)
说不出口.....	(86)
芭蕉树.....	(87)
热爱生活.....	(88)
有些事只能自知.....	(89)
每人都有一方土.....	(90)
一条藤上的苦瓜.....	(91)
送上一缕春光.....	(92)
我的誓言.....	(93)
种子的期望.....	(94)

只 要

只要是能给人
带来一片蓝天
带来一朵彩云
不在乎别人怎么说

给予不是为了报答
丰收中也有别人赠送的遗憾
只要人间都有一片阳光
人生的光环永远不会失色

91.7.20

十二岁的甜蜜

十二岁的甜蜜是个海

那时的欢笑是朵花

想不完的你，想不完的她

心里的事呀最伟大

十二岁的甜蜜是彩云

那时的梦呀最甜香

手摸着泥土，嘴衔着馍

妈妈的笑脸，挂心上

十二岁的甜蜜是流火

那时的忧愁不经烧

牛背的皮毛，唱出了歌

爸爸的秧歌，记心上

十二岁的甜蜜是蓝天

我抓着云衫漫天地游

91.7.21

乡村小学

菁边那间茅草棚

就是我的家

那是一所磨坊改装的

乡村小学校

七八个小孩子匆匆地进门

小鹿似地欢唱着离去

我每天都有所得

我每天都有所失

91.7.23

流 云

我愿是一片流云

广阔的天地是缤纷的牧场

我愿是一条小溪

目标总是在远方伸延

跌跤不是一件坏事

爬起来往前走就是一条好汉

幸运有时是一杯苦酒

倒下去永远不想起来

91.7.22